

■ お車のAPI分類(品質)とSAE粘度を確認しましょう

エンジンオイル缶表記の見方

API分類

ガソリン車用	ディーゼル車用
SN ↑ 上に行くに従って省燃費性能・環境保護性能に優れています。	CF-4/CF ↑ 上に行くに従って省燃費性能・エンジン清浄性能に優れています。
SM	CE
SL	CD

※専用規格DL-1を使用する車種はご注意ください。

API分類とは...
アメリカ石油協会の略で、そこでエンジンオイルに必要な性能を規定して、分類しています。

ACEA規格とは...
ヨーロッパで使用されているエンジンオイルの性能規定です。

A1/B1	A5/B5
A2/B2	A3/B3/B4

↑ 省燃費 耐久性 →

ドーナツマーク... API分類を表記したマーク。上の部分に分類、真中にSAE粘度の表記があります。

SAE粘度
オイルの硬さの指数

●左のWの付いた数字は、オイルの温度が低い時の硬さを表します。
0W 5W 10W 15W
← やわらかい → 硬い

●右側の数字は、オイル温度が高い時の硬さを表します。
20 30 40 50
← やわらかい → 硬い

●つまり、「0W-20」は非常に軟らかいオイルで、「10W-40」は硬めのオイル

●厳しい省燃費基準の「ILSAC GF-5規格」に適合した商品。

スターバーストマーク...
上記の「ILSAC GF-5規格」をクリアした商品に付けられるマーク。これが付いている商品は、一般的に省燃費性能に優れていると言えます。

※車両メーカーの取扱い説明書又はホームページ記載の内容を基準に、API分類・SAE粘度・ご使用量をご確認ください。(車種・年式により一部未記載有り)

※ご参考例:軽自動車約3L・普通乗用車約4L(年式／排気量別・外車除く)

※低粘度(0W／5W－20W)オイル指定車は、SAE規格に沿ってお選びください。

○API規格とはオイルの品質の規定です。(ガソリン車専用／ディーゼル兼用・専用)

○粘度とは液体の硬さ、やわらかさ、薄さ、濃さ、流れやすさを表すものです。

■ ベースオイル(基油)を選びましょう！

ベースオイルとは、エンジンオイルのベースとなるオイルの事です。
基本的に、エンジンオイルの性能は、ベースオイルによって決まります。

鉱物油

原油から不純物を物理的に取り除いて精製したもの

自動車メーカー純正オイルなど幅広く使われている経済性重視のオイルです。古いクルマや走行距離が多いクルマにも適しています。

オイルの粒の形、大きさがバラバラ
オイルが減る原因の小さな粒 エンジン潤滑に丁度良い粒
汚れの原因の大きい粒

部分合成油

鉱物油と合成油を混合したもの

鉱物油の低コストと合成油の高性能を兼ね備えたコストパフォーマンスの高いオイルです。

両方を混ぜたオイル

鉱物油
合成油

合成油

エンジンに最適のオイル分子を化学的に合成したもの

- オイルが減りにくい。
- エンジン内部が汚れにくい。
- 高性能が長持ち。●温度変化に強い。

オイルの粒の形、大きさが揃っている
エンジン潤滑に丁度良い粒

リーズナブルさがポイント!
(品質よりも価格重視!)

高性能・高品質!
(価格よりも品質重視!)

◎ガソリンエンジンオイル・ディーゼルエンジンオイル

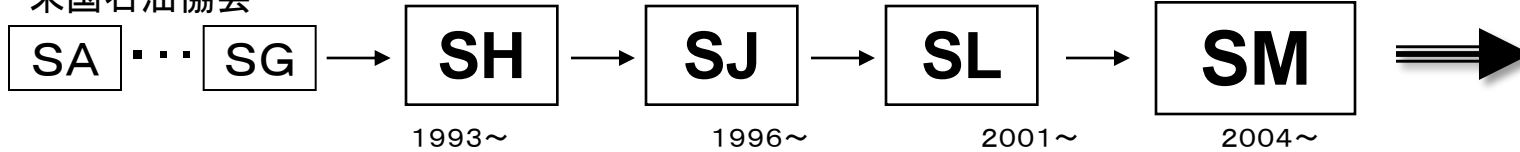
ガソリンエンジン専用	SN、SM	SN/GF-5
ガソリンディーゼル兼用	SM/CF	
ディーゼルエンジン専用	CF/CF-4	CF-4/DH-1
ディーゼルエンジン専用 指定車種専用	DL-1	

参考資料 ガソリンエンジンオイルの規格の流れ (API/ILSAC)

API規格 (エーピーアイ)

米国石油協会

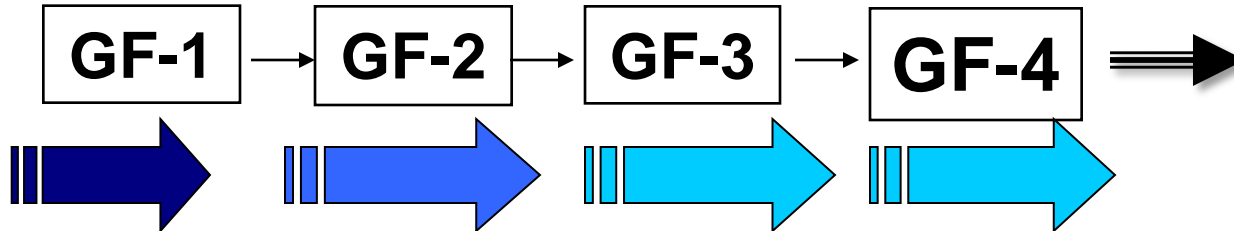
世界的に広く知られた機関の定める品質の規定



ILSAC規格 (イルサク)

API承認時燃費試験他を加えて評価しクリアしたものを承認

潤滑油国際標準化
及び認定委員会
(日米の自動車工業会に採用)



変更のポイント (ILSAC規格)

- 自己申告から登録制へ
- ILSAC規格の導入
- 高温での安定性の向上
- 蒸発損失分の改善強化
- 高温泡立ち防止性
- 省燃費性
- 排ガス触媒対策の強化
- 高温での安定性の向上
- 蒸発損失分の改善強化
- 省燃費性の向上
- 排ガス触媒対策の強化
- 高温酸化安定性の向上
- 省燃費性の大幅な向上
- 排ガス触媒対策の強化

SN規格オイル開発の方向性

環境への配慮が規格開発の第一目標

- 省燃費性能と持続性の向上
- 排気システムの保護(触媒被毒の低減)
- 熱/酸化安定性及び摩耗防止性の強化

《ドーナツマーク》

《スターバーストマーク》

